

# 本校卒業生プロ漫画家に 「月間少年マガジコミック大賞デビュー」大賞受賞!

瀬ノ口紗恵さん  
(美術科卒23期生)

Q 漫画家を目指したきっかけは?  
A 保育園の時に絵を描いていたから、ずっと「漫画家になれるね」と褒めてもらえたことがきっかけです。そこから、ずっと「漫画家になる」と決めていました。

Q 今回の受賞についてどう感じましたか?  
A 漫画家として「スタート地点に立っていい」と背中を押された感覚です。

Q 今回の作品のテーマについて教えてください  
A ずばり、「人間、割としょうもない」というテーマ。作中では自分のクローンを自分の手で殺すという非現実的な設定ですが、それはつまり、自分の生き方を「選択」すること。

Q 今後の意気込みを聞かせてください  
A 現在は原作付きの仕事

本校美術科の卒業生から、プロの漫画家が誕生する。瀬ノ口紗恵さん。(ペンネーム・瀬尾知汐、22歳。令和元年度本校美術科卒23期生。金沢美術工芸大学美術工芸学部美術科油画(あぶらえ)専攻卒。「第18回月刊マガジコミック大賞デビュー」で、「ハッピーバースデー、さよなら」で大賞を受賞し、プロ漫画家としてデビューを果たした。受賞作品の内容は「」

のキャラクターも中学生の頃から着想していました。高校進学で、バレーボールでの推薦、地元の進学校松陽高校の美術科と悩みましたが、美術の道に進むことを決断しました。小中学校は小規模校だったので、高校で世界が広がりました。美術部では部長でした。

Q 今回の受賞についてどう感じましたか?  
A 漫画家として「スタート地点に立っていい」と背中を押された感覚です。

自分のクローンが毎朝自分から生まれる。私は生まれてからクローンを自分の手で消さなければならぬ。新たな可能性を模索して、苦悩の中で今日を生きていく1人の女性の愛憎の物語だ。編集長や各評価者からは「圧倒的な画力」「どんな題材でも描けそうな技量が伺える」とその高い技術力が高く評価された。今回、瀬ノ口さんにお話をうかがうことができた。



長島町の実家で執筆する瀬ノ口さん。2021年からiPadを手に入れて、気になったとか。

## 論説 主体的な服装容儀への意識から 時代を生きる力を身につけよう

5月に開催された生徒総会では、「生徒が主体的に服装容儀のルールを守る松陽高校」というテーマが討議事項として提案された。このテーマについては、各クラスの代表の総務による代表委員会で事前に話し合われ、案1「服装容儀について、各クラスで、隣の席の生徒等とSHRなどで確認し合う」という生徒の自主性に期待する案と、案2「服装容儀について、生徒会役員や生活委員等がチェックする」という生徒会によるチェックを前提とする

案の2つに絞られて、生徒総会で全校生徒に投げかけられた。それぞれの立場で、提案したクラスから説明があったが、結論としては圧倒的な多数の賛成で案1が可決された。生徒による自主性を重んじ、各クラスでの取り組みに委ねる形で決議された。松陽高校では数年前まで体育館での服装検査が定期的に実施されていたが、その検査は今もなくなり、生徒の自主的な意識を重視した指導に変化している。現在では、服装容儀で問題が見られた場合には、個別

に指摘を受けたのちに、担当の先生の所へ行き指導を受ける形となり、生徒全員が緊張の中で検査を受けることはなくなった。この流れは、現在、時代にそぐわない校則を民主的な方法で見直そうとする世の中の動きや、生徒の自主性を重視する動きと合致したものと考えられる。政治の世界でも、時代にそぐわない校則を問題視している政党も多くあり、生徒自身のモラルへの期待は時代の流れなのだろう。

以前、「ブラック校則」という言葉が流行したが、新聞同好会での議論において、現在の松陽高校の服装の規定や、指導のあり方に特に反対の意見はなかった。一方で、生徒総会で自ら議決した、生徒の自主性に

期待する決議を経て、クラスや私たち生徒自身として何か具体的な動きにつながっているかどうかについては疑問が呈された。生徒総会で決議した「服装容儀について、各クラスで、隣の席の生徒等とSHRなどで確認し合う」ということが、具体的に行動している様子はあまり見られないのではなからうか。例えば、制服については、松陽高校生として端正に着こなせば、学校への帰属意識、愛校心につながる。期待できる。制服をおしゃれの対象として、かわいさやデザインを強調している学校も全国的にはみられる。しかし、松陽高校に得られるメリットの方が、現在の私たち

には大きいと感じる。今一度、生徒総会の決議として自分たちで決めたことを再認識するべきではないか。これからの時代は、お仕着せのルールに乗るのではなく、自分で考える力が試される時代といわれる。私たちの自主性・主体性は、服装容儀の問題を超えて重視されてきている。これからの長い人生の中で「縛られる」学校生活ではなく、主体的に考え、行動する姿勢です。学校生活は、これからの時代を生きる私たちに大切な資質を得させてくれるだろう。服装容儀への私たちの態度は、そのための大切な一歩と捉えたい。

【部長・浦乃愛】



1・2年生、入部お待ちしております!  
(外来種捕獲作戦後の1枚)

### 服装容儀で議論

5月15日、体育館で生徒総会が行われた。今回注目されたのは、第六号議案の「討議事項」で「生徒が主体的に服装容儀のルールを守る松陽高校」というテーマで、議論した点だ。詳しくは、本紙の「論説」で詳報したので確認してほしい。結果として生徒の自主性を重んじる方針が確認されたことについて、服装容儀の担当の富宿卓也先生は、今回の議決について「きちんとできるなら良い取り組みだと思う」と述べられた。服装容儀について今後、生徒の取り組みが問われる。また、第六号議案の「要項事項」

### 生徒総会

では、「始業前の自学の時間である『朝活用』の時間に部活動の実施を認めてほしい」という要望が可決された。この要望については、7月19日の終業式でキャリアアライズ部の福田智行先生から「今年度は、原則部活動は認めないという現状の方針でいきたい」と回答があった。「後悔のない進路実現のために自学の時間の確保は必要」という説明があった。【榎木詩桜】

### 新会長に久保田さん

6月12日、体育館で生徒会長・副会長選挙の立会演説会が行われ、即日開票の結果、久保田萌愛さん(2-4・写真)が会長に選出された。

### 生徒会会長選

6名が立候補した今回の選挙。久保田さんは放送での無言集合の声掛けや、挨拶運動の強化等を訴えた。【榎陽】

### MATSU YOKO 松陽子のクイズタイム!

Q. 松陽高校の第一期生の入試が行われた場所はどこでしょう?  
①鹿児島県立短期大学  
②鹿児島大学  
③鹿児島女子短期大学  
【作問・浦乃愛】  
※答えは、4面にあるよ。

### 県知事選挙 マatchingアプリで振り返る

鹿児島県知事選挙の投票日が7月7日に行われ、現職の塩田康一氏が当選を果たした。松陽が実現した時のメリット・デメリットが書いてあるのが分かります。好意的な意見が多かった。一方で、「設問の内容が難しく、どちらとも言えない」を多用してしまった。「私たちは学校で紹介されたが、多量に活用された。必要」という声が上がった。若者が投票に関心をもち、ツールとして活用されることを望みたい。【大園栞樹】

このマッチングアプリについて、「自分と考える一致している人がわかるから投票に行われ、現票につながるやすい」「争点となる質問の下に、それが実現した時のメリット・デメリットが書いてあるのが分かります」と好意的な意見が多かった。一方で、「設問の内容が難しく、どちらとも言えない」を多用してしまった。「私たちは学校で紹介されたが、多量に活用された。必要」という声が上がった。若者が投票に関心をもち、ツールとして活用されることを望みたい。【大園栞樹】

### 学校新聞「松陽スピリット」創刊しました

先日行われた生徒総会で、新聞同好会の発足が、正式に承認されました。私たちは、「松陽の魅力発信、学校と地域の架け橋となる」をモットーとして、学校新聞「松陽スピリット」を発行します。新聞を通して、松陽高校生の活躍や地域の出来事等を広く紹介し、学校と地域との絆を深めたいと考えています。

新聞同好会では、新入部員も募集しています。新聞制作はまず生徒同士で企画を考え、取材に行きます。取材では実際にインタビューをするのでコミュニケーション力が付きます。また、紙面づくりでは、伝える事を精選するため、文章を書く力はもちろん思考力が養われます。小論文を書く力にもつながります。現在所属している部の許可のもとで、兼部することも大丈夫です。興味をもった1・2年生は、是非、気軽に見学・体験に来てください!毎週火・木、講義室にて活動中。顧問は池之上博秋先生(高文連室・美術教室隣)です。